

2021年漁期のハタハタ漁獲対象資源量の予測(第2報)

前回(10月1日)お知らせした本県のハタハタ漁獲対象資源量の予測結果(ホームページ内に掲載)に続き、本県沿岸における初漁日の予測結果を加えて第2報としてとりまとめましたのでお知らせします。

青森県における2021年漁期のハタハタ漁獲対象資源

- ・ 資源量は前年漁期をやや下回る438トンと推定
- ・ 沿岸における漁獲主体は2歳魚、1歳魚も混じる
- ・ 初漁日*は12月5日(±1日)

※初漁日は新深浦町漁協岩崎支所においてその冬最初の水揚げが記録された日。

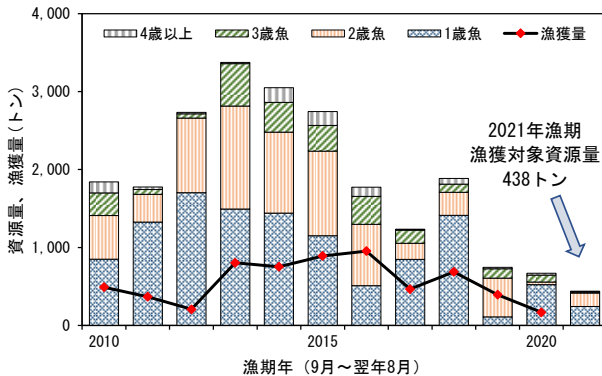


図1 青森県におけるハタハタ来遊資源量と漁獲量の推移

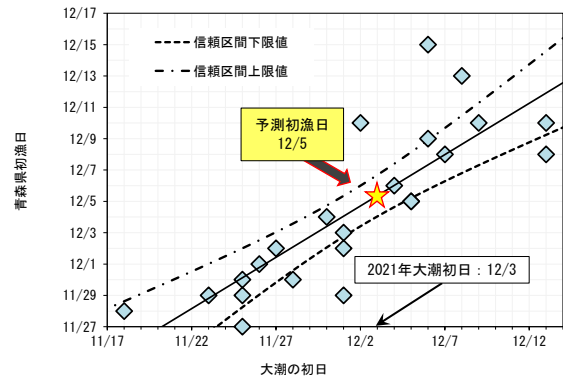


図2 大潮と青森県のハタハタ初漁日との関係

1. 青森県におけるハタハタ漁獲対象資源

漁獲対象資源を年齢別に見ると、1歳魚が前年比46%の242トン、2歳魚が同535%の174トン、3歳魚が同12%の11トン、4歳魚以上は同47%の11トン(図1)と推定され、1・2歳魚が漁獲主体となる可能性が高い。

9月中旬-下旬に試験船青鵬丸が行った本県沖合におけるオッタートロール調査では、2歳魚と推定されるハタハタの割合が高かったため、2歳魚が主体となって漁獲される可能性が高い。

2. 秋田県におけるハタハタ漁の情報(秋田県水産振興センターホームページより)

秋田県では2021年漁期は漁獲枠を設けず、操業日数制限に移行。2021年漁期は、2歳魚(中サイズ)が主体と推定されるものの、2019年漁期のような資源量は期待できないと推定。

3. 本県における初漁日予測結果

- ・ 初漁日は沿岸水温が14℃未満に低下した直後の大潮に近い日となる。
- ・ 2021年11月11日現在、沿岸水温は17.8℃であり、高水温だった2020年よりも高い水温で推移している。
- ・ 青森県における2021年漁期の初漁日は、大潮周期との関係から12月5日(±1日)と予測された(図2)。なお、初漁日は時化の影響で変化することがあり、11月下旬~12月始めの時化模様によっては予測より前後する可能性がある。